平成25年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月14日

上場会社名　一正蒲鉾株式会社　　上場取引所　大
コード番号　2904　URL　http://www.ichimasa.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 野崎　正博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長　(氏名) 滝沢　昌彦　TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日　平成25年5月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第3四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第3四半期	25,264	1.8	1,589	△27.4	1,577	△27.5	847	△18.5
24年6月期第3四半期	24,817	4.4	2,189	33.8	2,174	33.8	1,040	14.1

(注)包括利益　25年6月期第3四半期　1,066百万円　(△5.6%)　24年6月期第3四半期　1,129百万円　(29.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第3四半期	91.56	―
24年6月期第3四半期	112.30	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第3四半期	21,260	7,663	36.1	827.64
24年6月期	20,035	6,690	33.4	722.48

(参考) 自己資本　25年6月期第3四半期　7,663百万円　24年6月期　6,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	―	0.00	―	10.00	10.00
25年6月期	―	0.00	―		
25年6月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 6月期の連結業績予想(平成24年 7月 1日～平成25年 6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,400	2.0	1,570	△17.4	1,600	△15.1	770	6.2	83.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) マルス蒲鉾工業(株) 、 除外 1社 (社名) 一正食品(株)
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期3Q	9,295,000 株	24年6月期	9,295,000 株
② 期末自己株式数	25年6月期3Q	35,145 株	24年6月期	34,545 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期3Q	9,260,035 株	24年6月期3Q	9,261,407 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年７月１日～平成25年３月31日）におけるわが国経済は、復興事業の継続や金融緩和など、デフレ脱却と景気回復に向けた経済政策が打ち出され、消費マインドの改善が期待されるものの、電気料金の引上げや消費税増税に対する懸念、また、欧州債務危機の長期化や新興国経済の成長鈍化などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、厳しい雇用情勢や節約志向・低価格志向の浸透等により、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の確保に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高252億64百万円（前年同四半期比４億47百万円（1.8%）の増加）、営業利益は15億89百万円（前年同四半期比５億99百万円（27.4%）の減少）、経常利益は15億77百万円（前年同四半期比５億96百万円（27.5%）の減少）、四半期純利益は８億47百万円（前年同四半期比１億92百万円（18.5%）の減少）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

①　水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、激化する小売業における価格競争と、依然として引き続くデフレ環境のなか、厳しい状況が続いております。

昨夏は８月のお盆明けも猛暑が続き、９月においては北日本を中心に観測統計開始以降で最も高い気温となり、水産練製品の需要にとっては厳しい環境でありましたが、10月中旬以降は秋らしい気候となり、3月の気温上昇はありましたものの秋冬期間の需要は、総じて堅調に推移いたしました。

商品政策、販売政策におきましては、主力商品のリニューアルによる商品力の向上に加え、商品育成を目指した販売促進の強化を図ってまいりました。また、秋冬期間の主力商品である「おでん」商品群におきましても、おでんセット・おでん種・調理済みおでんの商品力強化と販売強化を推進してまいりました。

さらに、12月のおせち商品群におきましては、伝統的なおせち志向への対応は勿論のこと、適量・少量ニーズ、健康志向ニーズに対応した商品の品揃えなどを強化し、おせち商品の総合力を高めてまいりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は214億26百万円（前年同四半期比６億３百万円（2.9%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は８億87百万円（前年同四半期は13億22百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

②　きのこ事業

当セグメントにおきましては、昨夏の記録的な猛暑や残暑の影響による需要の低迷に加え、野菜相場及びきのこ相場が平年価格を大幅に下回る厳しい状況で推移し、秋冬需要期におきましては需要の回復が一時的に見られましたが、販売価格は前年同四半期と比べ低調に推移いたしました。

このような環境のなか、販売強化により販売量は前年同四半期を上回ったものの、売上高・利益は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は33億45百万円(前年同四半期比１億91百万円（5.4%）の減少)、セグメント利益（営業利益）は６億28百万円（前年同四半期は８億４百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

③　その他

（運送・倉庫事業）

運送事業におきましては、既存のお客様との取引深耕に加え、新規のお客様との取引拡大が寄与したことにより、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、入庫量の鈍化、在庫量の低迷により、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。一方、利益面では効率的な庫内管理に努めた結果、前年同四半期を上回る結果となりました。

（ゴルフ場事業）

ゴルフ場事業におきましては、個人消費の低迷や競合コースとの価格競争に加え、夏季の猛暑、秋季における低温、4月・12月初旬の降雪によるクローズなどの影響を受け、売上高は前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は４億92百万円（前年同四半期比34百万円（7.5%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は56百万円（前年同四半期は52百万円のセグメント利益（営業利益））となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①　流動資産

当第３四半期連結会計期間末における流動資産の残高は61億10百万円（前連結会計年度末比25百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加によるものであります。

②　固定資産

当第３四半期連結会計期間末における固定資産の残高は151億50百万円（前連結会計年度末比11億99百万円の増加）となりました。これは主に投資有価証券の増加によるものであります。

③　流動負債

当第３四半期連結会計期間末における流動負債の残高は78億60百万円（前連結会計年度末比２億10百万円の増加）となりました。これは主に未払法人税等の増加によるものであります。

④　固定負債

当第３四半期連結会計期間末における固定負債の残高は57億36百万円（前連結会計年度末比41百万円の増加）となりました。これは主に社債の増加及び長期借入金の減少によるものであります。

⑤　純資産

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加により76億63百万円（前連結会計年度末比９億73百万円の増加）となり、自己資本比率は前連結会計年度末の33.4%から36.1%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年７月27日発表の通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第２四半期連結会計期間において、マルス蒲鉾工業株式会社の全株式を取得し子会社化したため連結の範囲に含めております。

また、前連結会計年度末において当社の連結子会社であった一正食品株式会社を平成25年２月１日付で当社に吸収合併しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社（一部の連結子会社を除く）は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年７月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	927,938	796,055
売掛金	2,788,882	3,365,014
商品及び製品	415,943	359,182
仕掛品	454,452	319,356
原材料及び貯蔵品	1,328,894	1,054,194
その他	169,914	217,773
貸倒引当金	△824	△839
流動資産合計	6,085,201	6,110,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,453,744	5,438,418
機械装置及び運搬具（純額）	2,298,421	2,576,000
工具、器具及び備品（純額）	133,709	125,743
土地	3,573,193	3,564,865
リース資産（純額）	38,117	37,248
建設仮勘定	－	16,233
有形固定資産合計	11,497,186	11,758,509
無形固定資産	284,632	363,991
投資その他の資産		
投資有価証券	1,572,008	2,490,551
その他	661,905	600,743
貸倒引当金	△65,416	△63,645
投資その他の資産合計	2,168,497	3,027,650
固定資産合計	13,950,316	15,150,151
資産合計	20,035,517	21,260,889
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,768,023	1,527,661
短期借入金	3,308,172	3,382,940
未払法人税等	112,690	573,824
賞与引当金	77,523	211,540
未払金及び未払費用	1,551,797	1,588,999
その他	832,084	575,910
流動負債合計	7,650,292	7,860,875
固定負債		
社債	1,760,000	2,185,000
長期借入金	3,358,515	2,858,978
退職給付引当金	1,284	1,483
役員退職慰労引当金	128,322	146,283
その他	446,589	544,386
固定負債合計	5,694,711	5,736,130
負債合計	13,345,003	13,597,006

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	4,806,449	5,561,676
自己株式	△17,245	△17,542
株主資本合計	6,379,203	7,134,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	311,310	529,749
その他の包括利益累計額合計	311,310	529,749
純資産合計	6,690,514	7,663,883
負債純資産合計	20,035,517	21,260,889

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年７月１日 至 平成24年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年７月１日 至 平成25年３月31日）
売上高	24,817,667	25,264,733
売上原価	17,466,013	18,314,328
売上総利益	7,351,654	6,950,405
販売費及び一般管理費	5,162,637	5,361,156
営業利益	2,189,016	1,589,248
営業外収益		
受取利息	462	175
受取配当金	11,488	11,774
受取賃貸料	16,587	13,787
受取手数料	22,904	10,335
雑収入	29,402	48,543
営業外収益合計	80,845	84,615
営業外費用		
支払利息	82,101	77,079
雑損失	13,563	19,557
営業外費用合計	95,664	96,637
経常利益	2,174,197	1,577,226
特別利益		
固定資産売却益	6,569	1,268
受取保険金	34,154	－
受取賠償金	－	14,918
その他	1,433	－
特別利益合計	42,158	16,186
特別損失		
固定資産除却損	8,384	12,088
固定資産売却損	－	679
投資有価証券評価損	5,143	3,345
災害による損失	27,357	－
役員退職慰労金	94,171	－
減損損失	171,152	－
工場移転費用	112,380	67,132
特別損失合計	418,589	83,244
税金等調整前四半期純利益	1,797,765	1,510,168
法人税、住民税及び事業税	756,099	735,257
法人税等調整額	1,609	△72,959
法人税等合計	757,709	662,298
少数株主損益調整前四半期純利益	1,040,056	847,870
四半期純利益	1,040,056	847,870

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年７月１日 至　平成24年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,040,056	847,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,045	218,438
その他の包括利益合計	89,045	218,438
四半期包括利益	1,129,101	1,066,309
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,129,101	1,066,309
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（3）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年７月１日　至　平成25年３月31日）

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年７月１日　至　平成24年３月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	水産練製品・惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,823,068	3,536,616	24,359,684	457,983	24,817,667	―	24,817,667
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	1,169,015	1,169,015	△1,169,015	―
計	20,823,068	3,536,616	24,359,684	1,626,998	25,986,682	△1,169,015	24,817,667
セグメント利益	1,322,441	804,925	2,127,366	52,048	2,179,415	9,601	2,189,016

（注）1　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2　セグメント利益の調整額9,601千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年７月１日　至　平成25年３月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）1	合計	調整額（注）2	四半期連結損益計算書計上額（注）3
	水産練製品・惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,426,962	3,345,415	24,772,378	492,355	25,264,733	―	25,264,733
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	1,201,568	1,201,568	△1,201,568	―
計	21,426,962	3,345,415	24,772,378	1,693,923	26,466,302	△1,201,568	25,264,733
セグメント利益	887,528	628,626	1,516,155	56,666	1,572,821	16,427	1,589,248

（注）1　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫事業、ゴルフ場事業を含んでおります。

2　セグメント利益の調整額16,427千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社及び連結子会社（一部の連結子会社を除く）は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年７月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第３四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成24年７月１日　至　平成25年３月31日）

該当事項はありません。